

会議録

会議名	令和6年度 第1回八王子市高齢者あんしん相談センター運営部会
日時	令和6年(2024年)11月8日 午後0時~0時55分
場所	市役所本庁舎議会棟全員協議会室
出席委員	杉原陽子会長、添石遼平副会長、澤井菊男委員、吉本由紀委員、荒井雄司委員
関連部署説明員	福祉政策課長 柏田、高齢者いきいき課長 吉本、介護保険課長 小林、健康医療政策課長 中山
事務局	福祉部長 立花、高齢者福祉課長 長谷川、高齢者福祉課課長補佐 太田、高齢者福祉課主任 臼井、高齢者福祉課主事 小島
欠席者	尾寄敏夫委員、磯部剛久委員
公開・非公開の別	「公開」
傍聴人の数	なし
次第	1 開会 (1) 高齢者あんしん相談センター運営部会における臨時委員の委嘱・指名について (2) 会長の互選、副会長の指名 2 議題 (1) 令和5年度(2023年度)高齢者あんしん相談センターの事業評価方法等について (2) 令和6年度(2024年度)高齢者あんしん相談センター運営部会・自己評価ヒアリングスケジュールについて 3 その他事務連絡 4 閉会
配付資料名	次第 名簿 <資料> 資料1 高齢者あんしん相談センター実施計画兼自己評価票 資料2 高齢者あんしん相談センターの事業評価の実施方法について 資料3 センターヒアリング日程調整表 資料4 令和6年度(2024年度)高齢者あんしん相談センター運営部会・自己評価ヒアリングスケジュール 【追加資料】 高齢者あんしん相談センター運営部会開催実績

【内容】

◆太田課長補佐

令和6年度第1回高齢者あんしん相談センター運営部会を開催する。

次第1「高齢者あんしん相談センター運営部会における臨時委員の委嘱指名について」。

第1回高齢者福祉専門部会において、専門部会、分科会及び本部会の臨時委員の選出について御意見をいただき、事務局で該当団体に推薦依頼を行った。

その結果、八王子社会福祉協議会から吉本由紀様に、八王子市社会福祉審議会条例第2条に基づき、令和6年10月1日付で八王子市社会福祉審議会臨時委員として委嘱することが決定した。

また、本日は市長が出席できないため、福祉部長より、臨時委員の委嘱状を交付する。

分科会及び部会の臨時委員指名書については、すでに机上配付しているので、御確認願う。

それでは福祉部長から委嘱状をお渡しする。

◆立花福祉部長

委嘱状。次のとおり委嘱する。

吉本由紀様、八王子市社会福祉審議会臨時委員、令和6年10月1日から令和9年3月31日まで。令和6年10月1日、八王子市長初宿和夫。

◆太田課長補佐

本日は、第四期の初回の会議となるので、お手元の委員名簿の順に従い、杉原委員から1人ずつ、所属とお名前の自己紹介をしていただく。

なお、磯部委員と尾寄委員から、事前に本日は都合により欠席するとの連絡を受けているので報告する。

◆各委員<自己紹介>

◆太田課長補佐

福祉部長より一言挨拶を申し上げる。

◆立花福祉部長

本日は高齢者あんしん相談センター運営部会を開催させていただく。今年度は2回開催予定だが、翌年度は3回程度を予定している。8期計画期間中には5回程度この運営部会を行っている。今年度から3年間の9期計画においても、同程度または案件によってはさらに開催させていただく。ご協力のほどよろしく願います。

◆太田課長補佐

本部会では、案件に応じて、他の職員に説明員として出席を求めることがある。

また、本日は招集していないが、センターの運営等について御審議をいただく場であることから、実際に業務を行っている高齢者あんしん相談センターのセンター長に、オブザーバーとして今後参加していただくこともある。

次に配布資料の確認を行う。不足資料はないか。

本日、初回の会議のため、会長、副会長の選出を行う。

八王子市高齢者あんしん相談センター運営部会運営要綱第3条第1項に基づき、会長副会長については、委員の中からの互選とする。

どなたか御発議あるか。

◆澤井委員

前回の会長も勤めていただいた杉原委員を推薦する。

◆太田課長補佐

澤井委員から、杉原委員の推薦があったが、御異議はないか。

杉原委員、承諾いただけるか。

◆杉原委員

はい。

◆太田課長補佐

では杉原委員を、会長に選出する。

◆杉原委員

委員の皆様は建設的な良い御意見をいただける方たちばかりなので、心強く思っている。事務局の皆様もいつも丁寧に御配慮いただき、努力いただいていることは承知しているので、引き続きよろしく願います。

高齢者あんしん相談センターの方たちと時々交流する際に、いろいろ課題や不満を聞いている。現場の方は、本当に大変な御苦勞をされている。高齢者あんしん相談センターあってこそその高齢者福祉なので、

現場の方の意見をしっかりと伺い、皆様が気持ちよく働けるように、我々、この会議体として、時には市へいろいろな要求をつきつけることもあるかと思うが、お互いに協力しながら、よりよい高齢者福祉を目指していきたい。

◆太田課長補佐

続いて、副会長の指名に移る。御発議はあるか。

◆杉原会長

副会長には、添石委員を指名したい。

◆太田課長補佐

副会長は杉原会長から、添石委員の指名があったが、異議はないか。
〔「異議なし」と呼ぶ者あり。〕

◆太田課長補佐

添石委員、御承諾いただけるか。

◆添石委員

はい。

◆太田課長補佐

では添石委員を副会長に選出する。

◆添石委員

会長の御指名ということで、会長の補佐を務めさせていただく。どうぞよろしく願います。

◆太田課長補佐

議事に入る前に、福祉部長が次の公務のために退席するので、御了承願う。

会議の公開非公開については、八王子市市民参加条例第9条第3項及び八王子市社会福祉審議会条例施行規則第4条に基づき、原則公開とする。

また、公開することが適当でない認めるときは非公開の決定を行うことになっている。今回の会議では非公開事項はないため、公開とする。

ここからの進行は、本部会運営要綱第3条第2項に基づき、会長に願います。

◆杉原会長

本日の出席委員数は5名、過半数を超えているため、本部会運営要綱第5条に基づき開催要件を満たしている。

本日の傍聴人はいるか。

〔「いません。」と呼ぶ者あり。〕

次第2(1)「令和5年度(2023年度)高齢者あんしん相談センターの事業評価方法等について」、事務局より説明をお願いする。

◆臼井主任

資料1「高齢者あんしん相談センターの実施計画兼自己評価票」を御覧いただきたい。

これは5年度の実施計画だが、4年度の最後の運営部会で、次年度の実施計画の内容を検討いただき、新年度に入り地域包括支援センターに提示しているものである。

これに基づき、地域包括支援センターでは1年間取り組みをしたのち、実績と自己評価を入れた状態で、市へ提出いただくことになる。

今回は内容を確認いただきたいため、センターの入力する部分は白紙となっている。全26ページあり、各センター分を委員の皆様に配布することは物理的に難しいため、内容を御覧いただきたい。

今年度についても同様に、この内容に基づき各センターで取り組みを行っている。

次に、資料2「高齢者あんしん相談センターの事業評価の実施方法について」、高齢者あんしん相談センター運営部会において、今年度は地域包括支援センターの事業評価を、ヒアリングを通して実施していただきたいと考えている。

目的としては、地域包括支援センターが求められている機能を十分発揮していくためには、センターの業務負担軽減も含めた改善を推進するとともに、中長期的な視点に立った取り組みを市が推進していくことが重要と考えている。

市が実施する事業については、様々な国の指標等に基づき、自己評価等も実施しているところである。センターの事業評価については、センターから書面で提出いただいたもの以外に、直接担当者の声を聞いていただき、実情を把握した上で皆様の御意見等をいただきたい。

昨年度は8月に受託法人懇談会を行い、委員の皆様にも従事していただいた経緯がある。今年度の8月は台風への対応があり開催を延期した関係で、年末の忙しい時期となるが12月に実施させていただきたい。

会場については八王子市役所職員会館の第1・第2・第3会議室を予定している。

実施内容については、各センター40分を限度に実施したいと考えている。

21センターあり、全委員7名のため、原則各委員の皆様には3センターを評価の対象としていただきたい。

ヒアリングについては公平性の担保も必要になるため、ヒアリングは2人1組で、2回程担当していただく形を考えている。

流れとしては、各センターへヒアリングした結果を事務局で取りまとめた上で、委員の皆様と各センターと共有する。まとめた内容から、次年度の指標に応じて、実施方針等に反映させていただく。

ヒアリングを実施するに当たり、日程調整をさせていただきたい。

資料3のとおり、現在会議室を押さえており、この日程を検討中である。

皆様の御都合を確認いただき、参加の可否について11月20日までに市へ御提出を後日いただきたい。

◆杉原会長

内容について意見・質問等あるか。

ヒアリングが初めてという委員はいるか。

◆臼井主任

磯部委員と尾寄委員が初めてになる。

◆杉原会長

初めての委員の方にはどのようなものなのかというのを丁寧に事務局から説明いただけるか。

◆臼井主任

こちらから案内するとともに、お二人が同日にならないよう調整させていただく。

◆杉原会長

12月の設定、しかも夜間というのは、昨今の働き方改革というのもあり、市役所の皆様も、事業者の皆様にも申し訳ない。他にやりようはないか。

◆臼井主任

会場等を再度11月下旬から含めて確認し、別途ご案内させていただく。

◆杉原会長

センターは夜間の方が都合が良いというのわかるが、やはり働き方改革で意識を変えていくようにした方が良い。例えば夜間でない時間帯を検討いただくことはできないか。

◆臼井主任

会場を確保できれば検討可能。外部の会場等も併せて検討し、委員の皆様に御案内させていただく。

◆杉原会長

日程は変わるということなので、日程調整の連絡が今日ではなくなると思うが、どのようなスケジュール感になるか。

◆臼井主任

来週早々に会場等の確認をし、可能であれば水曜日ぐらいまでに御連絡したいと考えている。

◆杉原会長

できるだけセンターの方にも負担をおかけしない形で、夜間の方が都合が良いのであればそれでも致し方ないと思うが、時間外で、本当に12月でセンターがよろしいのか。

◆臼井主任

11月は期間的に迫っているが、会場があるか確認する。11月下旬から期間を対象として、センターにも確認をとる。

◆杉原会長

センターの御意見を伺い調整いただきたい。

過去2回ヒアリングに参加し、その際センターから市側に要望などを伺っているが、その後何がどう変わったのかがよくわからない状況でいつも終わっている。

ヒアリングで、お困り事などを伺い、市のほうで後方支援として改善できるところがあるかを伺っているが、その後どういう形で処理されているのか。

できれば今回のヒアリングも、どのような要望が上がってきて、それに対してどのような対応が取れそうなのかを、この部会の第2回の会議で検討できればと思っている。

◆臼井主任

ヒアリングの結果については、センターからの要望、または市の意見・評価ということで、共有させていただいていると聞いている。

ただし、センターの要望が、センターに対してお返しできているのかについては、この場で確認できないため、過去の内容を点検していく。

◆杉原会長

ぜひお願いする。

ヒアリングにあたっては、聞いて欲しい内容の資料を毎回御提示いただいていた。各委員のほうに、今回も御提示いただきたい。また、センターから上がってきた意見・要望は集約した上で、共有・検討にとどまらず、改善策を運営部会でも検討していきたいと思う。第2回の部会に向け、準備をお願いしたい。委員の皆様はヒアリングを経験済みだが、何か御意見・要望はあるか。

◆荒井委員

前回ヒアリングを行い、市の考え方との擦り合わせをしないといけないと感じた部分があった。生活支援コーディネーターが0.6人分しかないため採用が難しいという話が出たはずだが、その結果を知らされていない。

◆臼井主任

現在地域包括支援センターの受託法人へ、認知症地域支援推進員1人、生活支援コーディネーター0.6人分という内容で契約し、委託料を払っている。

フルタイム勤務を希望される方が多いため、非常勤の0.6人という任用では応募に繋がらないという話も聞いているが、変更はなく、今年も1.6人分の契約になっている。皆様の御意見、またセンターの要望に対してどう判断をしたのかというのは、共有できるようにしていく必要がある。

◆荒井委員

結局どうなったかも知らず、そこで結構盛り上がった話も意味がないということになってしまう。

◆臼井主任

できる、できないは当然あると思うが、変更できないなら理由を部会の委員の皆様とも共有できるようにしていけるよう努めていきたい。

◆杉原会長

同感である。他の皆様からも、何か御意見・要望はあるか。

◆吉本委員

前回ヒアリングをした後の会議が書面開催だった。委員の皆様と対面で開催して、ヒアリングの様子等を共有できると良い。ヒアリング時に出た意見がどうなったのか、どう改善・反映されたのかというのをこの運営部会の中で共有していきたい。また、事前にヒアリングのポイントをご案内いただきたい。お忙しい中とは思いますが、よろしくお願いします。

◆杉原会長

澤井委員、ヒアリングに向けて何か御意見・要望はあるか。

◆澤井委員

前は場所が狭かったため、ぜひ他の場所があれば検討いただきたい。また今回、ヒアリングが12月ということだが、年明けぐらいにした方が、お互いにやりやすいと思う。余裕のあるときをお願いしたいと思う。

◆添石委員

スケジュール的にいつまでにやらなければならないというのがあると思うが、今澤井委員から1月というお話しもあったが、いかがか。スケジュール感を教えていただきたい。

◆臼井主任

資料4で、次の議題でお話をさせていただく内容であったが、今の議題と関連するので、今後のスケジュール表に基づいて、再度の調整が必要と考えているがここで説明する。年度が終わったところでセンターから実績報告と、自己評価シートが提出され、それを高齢者福祉課でまとめたものを、委員の皆様へ提示させていただく。

以前は書面のみで評価をしていただいた経緯もあるが、書面だけでは見えない、実態を把握するためにも直接お話する機会も必要かということで、今回はヒアリングという形をとらせていただく。

こちらの表については、少し前倒しし、1月に幅を広げて開催することが可能かどうか検討させていただきたい。

また皆様へ、実際ヒアリングした結果を御報告いただく流れとなるので、おそらく1月上旬ぐらいまでがヒアリングの期間の限度かと思う。それを取りまとめした上で2月に令和7年度の実施方針をまとめてセンターへ示していくという流れになる。2月を第2回運営部会の開催として、どこまで伸ばせるかという話になる。

◆杉原会長

改めて次第2「令和6年度（2024年度）高齢者あんしん相談センター運営部会自己評価ヒアリングスケジュールについて」の議題に事務局から追加で説明はあるか。

◆臼井主任

これは一旦調整して、会長副会長等と相談した上で、委員の皆様には提示させていただきたい。

◆杉原会長

本件について、ご意見ご質問等はあるか。

◆添石委員

ヒアリングが終了後、各センターへのフィードバックは、どのタイミングになるか。

◆臼井主任

皆様の意見をいただき、皆様にお返しすると同時に共有させていただく予定でいる。

◆添石委員

令和7年度のセンターの計画は、どの段階で作られるのか。

◆臼井主任

第2回の運営部会開催前に集約し、事前資料としてお配りできればと考えている。1月下旬ぐらいというイメージになる。

◆添石委員

本来ヒアリングをして、ヒアリングした内容を基に意見を我々がまとめ、それをフィードバックして次年度の計画に生かすと思うが、フィードバックする前に出ていいのかと思う。また、既に令和7年度の予算編成が終わっているの、人数を増やそうといっても無理というスケジュールである。

◆臼井主任

現状、地域包括支援センターの契約内容は、3年契約になっている。債務負担行為を組んだ上、契約金額を定めているため、例えば法律的な変更等がなければ、予算増額3年間を行うことは難しいところがある。

新たな事業等が生じた場合は対応できる部分もあるかと思うが、現状の予算編成において、随時この場の意見を反映するという事は難しい。

◆添石委員

3年後、次の更新の際に向けてということになるか。

◆臼井主任

その通りである。計画と同じ年に更新されているため、6年度から少し金額が上がっている。

今年度については、生活支援コーディネーター、認知症地域支援推進員とは別だが、地域包括支援センター職員の負担軽減のため、0.5人分の上乗せはしてある。

◆添石副会長

予算は置いておいて、ヒアリングを実施し、そのヒアリングをもとに協議した事項をセンターに向けてフィードバックする流れになると認識している。それが終わった段階で本来計画を作っていたのが筋かと思う。スケジュール感だけ御考慮いただきたい。

今回、間に合わないことは仕方がないが、次年度以降8月等に実施できないとしても、もう少し早い段階での実施を検討いただきたい。

◆臼井主任

今年度は委員の改選があり、委員が確定していなかった、通常より遅れてしまうというところが一つある。臨時委員の選考についても、その流れでいくため、改選時期というのは少し遅れてしまう傾向ではある。

また、8月の台風については、高齢者福祉課は要介護者の安否確認ということで、全員の安否を確認する役割があったため、台風が過ぎた後も事務的な部分で、対応が必要だったという実態がある。

一旦8月の開催ができなかったということがあり、開催が遅れた理由になっている。

それ以外は基本的には他意はないので、迫ってしまった中で、最大限、こうした項目を消化するためのスケジュール感になってしまっている。

◆杉原会長

資料「あんしん相談センター運営部会開催実績」について、説明はあるか。

◆臼井主任

皆様の実績を知っていただきたく、追加で出した資料となる。

また、開催の要件については、要綱上の決まりもあるため確認の上、今後の開催回数、また開催時期について調整をさせていただきたい。

◆杉原会長

今回部会の開催が遅れているということで、過去どうだったのか、ホームページ見ると記載されていない。

平成 29 年度は、5 回ぐらい開催されていた。平成 29 年度までは割と頻回に開催されていて、30 年度以降、回数が減ったのは、何か理由があるか。

◆臼井主任

おそらく、まだ運営部会と分科会の役割が、今とは違ったように思う。詳しく調べてきていないが、年 6 回程度を開催している時期もあった。大きな変動として気づいた点は、高齢者あんしん相談センターは当初 12 センターでスタートし、随時増やしてきた。そちらの備考欄に書いてあるが、令和 2 年度に 2 センター、その前が令和元年度の 2 センター、それ以前も徐々にセンターを増やしてきた。そうしたセンターの増設や、日常生活圏域の見直し、また受託者の選定委員会等も踏まえた御意見をいただく場として、開催回数が多かったという部分もあるかと思う。

◆杉原会長

今回第 1 回開催であるため、この高齢者あんしん相談センター運営部会の役割を確認したい。意思の統一もしておきたいと思っている。

今まで、各センターの実施状況報告、自己評価表を確認し、ヒアリングを行い、適切な運営がなされているかをチェックするという立場性が本部会にはあった。また、センターから様々な意見や要望を伺い、改善できるところはないかを検討する。時には市へ要求を突きつけるような役割を持っていると思っている。そのような理解でよろしいか。

◆臼井主任

活動を通して皆様から御意見、御指摘いただいた内容について、どのような形で政策に反映していくのか、場合によっては予算的な措置等への御意見を集約する場と認識している。

◆杉原会長

例えば先ほど出た人員 1.6 人というようなところで、問題があるので改善するように、というような提案をこの部会から出してもよろしいか。

今までは、市からこれを行ってくださいと指示があり、行っているだけで終わっている印象を持っている。本来は、地域ケア推進会議も同様だが、地域ケアを推進するためにどう高齢者あんしん相談センターをより良いものにしていくのか、負担軽減を図りつつ、より良い活動ができるようにしていくかを審議する場だと理解しているが、今まであまりできていない印象を持っている。

第 9 期計画がスタートをしたところであり、もう少し意味のある会議にしていきたいと思っている。第 9 期の 3 年間、あんしん相談センター運営部会をどのように委員が動かしていけば良いのかという点について、ご意見をいただきたい。事務局からも何か意見等はあるか。

◆吉本委員

各高齢者あんしん相談センターが、今現状がどうか、業務が適切に進んでいるのか。市への報告も踏まえ、どのように進んでいるのかを確認できるいい機会だと思う。それぞれが活発な意見を述べるというのは役割だと思うが、時期的に忙しいと委員も資料がたくさんあり、見るのも大変ではある。会長も言われたように、働きやすい、八王子の高齢者の皆様に支援が届く内容が行われるかどうか、私たちも確認できればよいと思う。

◆荒井委員

先ほども話したが、これまで評価やヒアリングを行ってきたが、今回は契約更新の時期であるという話もあり、改善してほしい点等話をしたと思うが、それが反映されているのか、されていないのかわからない。ヒアリングを行っただけ、ということになるのは避けたい。結果や改善された点等を報告いただきたい。それがなければ市で実施すれば良いのではないかと思う。今後は包括との話し合いの中で話が出たら、今後どのようにしていくのかを話していきたいと感じた。

◆澤井委員

高齢者あんしん相談センターは重要な施設である。相談を受ける側は大変だが、市民の方にとっては相談できる重要な場である。情報を共有し、民生員の方も地域で話をしていくことで、今後も取り組んでいきたいと思う。

◆添石委員

センター長からは、運営部会とは私たちの活動の方針を決めているのかと聞かれることがあるが、決してそのようなことはないということが参加している実情である。参加しているからには本来そのようなところも含めて検討させていただきださなければならないと思う。市が決めたことを受け入れるだけではなく、これを審議した上で、時には我々からの意見、現場からの意見も含めて提案させていただくことになると思う。そ

れを実際の計画、施策に生かしていただくような、実効性がある、結果に繋がるような部会にしていければ良いと思う。

◆長谷川課長

皆様の貴重な御意見を今後に向けて生かしていけるように検討を進めていきたい。

◆杉原会長

検討に終わらない形で改善していける3年間になると良いと思う。引き続きよろしくをお願いしたい。

本日の審議はこれで終わるため、事務局にお返しする。

◆太田課長補佐

今回の部会開催にあたり、通知等を含め、時間的な猶予がない中御協力を賜り、大変感謝申し上げます。

次回のヒアリング実施については、再度事務局で検討し、委員の皆様にお示しをしていく。

十分な調整及び時間的な対応を行うので、引き続き御協力をお願いしたい。

本日はありがとうございました。

閉会